



東京都美術館 × 東京藝術大学

## とびらプロジェクト

「ライぶらり」は「とびラー」のアイデアから生まれました。

「ライぶらり」は東京都美術館と東京藝術大学の連携事業「とびらプロジェクト」に所属するアート・コミュニケーター（愛称：とびラー）によって編集されています。

「とびらプロジェクト」とは、美術館にあったらいいなと思える活動を、広く一般から募集したとびラーと、学芸員や大学教員が同じ目線で考え実行するプロジェクトです。とびラーの活動はボランティアですが、学芸員や大学教員のサポートではありません。美術館から生まれる新しい暮らしの形、アート・コミュニティをつくりあげるプレーヤーとして活躍する人々です。世代や職種を越えて集まったとびラーが生み出す様々な活動によって、来館した多くの人々の美術館での体験がより深く、充実したものとなることを目指しています。

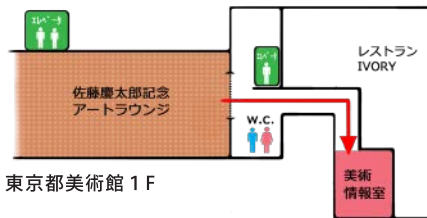
とびラーの活動について詳しい情報はウェブサイトをご覧ください。

とびらプロジェクト 検索 <http://tobira-project.info/>



< 美術情報室について >

美術情報室の資料は、どなたでも自由に閲覧することができますが、貸出は行っておりません。詳しいご利用方法については、別紙「ご利用案内」をご覧ください。



ライぶらり vol. 4

「レオナルド・ダ・ヴィンチ展」編

2013年5月30日

発行：とびらプロジェクト

編集：とびラー

「ライぶらり」は東京都美術館のアート・コミュニケーター（愛称：とびラー）がお贈りする不定期発行の情報誌です。

# LEONARDO DA VINCI

## レオナルド・ ダ・ヴィンチ展編

2013年4月23日(火)～6月30日(日)

美術情報室で  
アートを読もう

東京都美術館の1階に  
美術情報室という  
図書室があるのを  
ご存知でしょうか？

落ち着いた雰囲気の中で  
本を楽しむことができます。

東京都美術館の特別展・企画展等に  
関連した書籍を紹介する情報誌



## おすすめ書籍一覧



### 「レオナルド・ダ・ヴィンチ 復活 『最後の晩餐』」

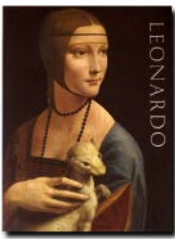
片桐頼継 (著), 1999年

「もはやレオナルドの作品ではない…」というほど、誤った加筆が繰り返された《最後の晩餐》。本書は、1999年に完了した修復で明らかになった食卓の食べ物や内装などを豊富な写真解説で紹介しています。CGによる再現も行われ、当時の鮮やかな晩餐図の雰囲気も味わえますよ。旅行のお供&予習としてもオススメです！

旅行のお供に度 ★★★

初心者もわかりやすい度 ★★★

現地で話のネタになる度 ★★☆☆



### 「Leonardo da Vinci Painter at the Court of Milan」

Luke Syson, Larry Keith ほか (編), 2011年

2011年～2012年にロンドン・ナショナル・ギャラリーで開催されたレオナルド展の図録です。二つの《岩窟の聖母》を並べて展示するなど「世紀の大展覧会」といわれ、ミラノ時代のレオナルドに焦点を当てた話題の特別展でした。今回の「天才の肖像」展に行く前にページをめくってみることで、実物と向き合ったときの感動がきっと増すと思います。

実物が見たくなる度 ★★★

お堅い教科書度 ★★★

画家ダ・ヴィンチへの敬意度 ★★☆☆



### 「レオナルド・ダ・ヴィンチという神話」

片桐頼継 (著), 2003年

ボッティチェリ先輩に比べると世渡り下手なレオナルド。創意と知性と好奇心を武器に、なんとか生き残ろうとするレオナルド。空想科学的なアイデアいっぱいの夢想家レオナルド。「万能の天才」の素顔に想いを馳せるうち、彼の人間臭さが漂ってきて、悩みつつも奮闘する姿に親近感が湧いてくる一冊。

意外な人間像度 ★★★

カラー図版度 ☆☆☆

読みやすさ度 ★★★



### 「レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図 女王陛下のコレクションから」

マーティン・クレイトン, ロン・フィロ (著), 東京藝術大学美術解剖学講座 (訳), 1995年

科学者としてのレオナルドに迫りたい方には、人体解剖に関する彼の手稿が豊富に載ったこの一冊を。精緻に描かれた筋肉や骨格のスケッチからは、鋭い観察眼や卓越した技術はもちろん、崇高な美しさすら感じられます。鏡文字で書かれた、彼の人が垣間見える文章も必見。

レオナルド肉薄度 ★★☆☆

図版充実度 ★★★

専門度 ★★☆☆



### 「レオナルド・ダ・ヴィンチの食卓」

渡辺怜子 (著), 2009年

料理研究者である著者が、レオナルドやミケランジェロの手稿を参考に、彼らが当時いったい何を食べていたのかを探求するエッセイ。豊富な食材や食器のスケッチも登場し、レオナルドファンにも、料理好きにもたまらない一冊です。アレンジレシピも掲載されており、歴史を知って実際に作ってみたいという方にもオススメです。

レオナルド美食家度 ★★☆☆

レシピ充実度 ★★☆☆

作ってみたい度 ★★☆☆



### 「モナ・リザ 100の微笑」

ジャン=ミッシェル・リベット, 三浦篤, 日本経済新聞社 (編), 2000年

絵画史上、最も複製されてきたレオナルドの《モナ・リザ》。「模写から創造へ」というテーマのもと2000年に東京都美術館ほかで開かれた同名展覧会の図録です。いわば「なりきり《モナ・リザ》シスターズ写真集」!? 正当派の模写、影響を受けた作品、一部分だけで表現したもの、中にはその名前だけを使った作品まで！堅い話は抜きにして《モナ・リザ》の百変化が楽しめます。

偉大さ再確認度 ★★☆☆

満腹度 ★★☆☆

実物が観たくなる度 ★★☆☆